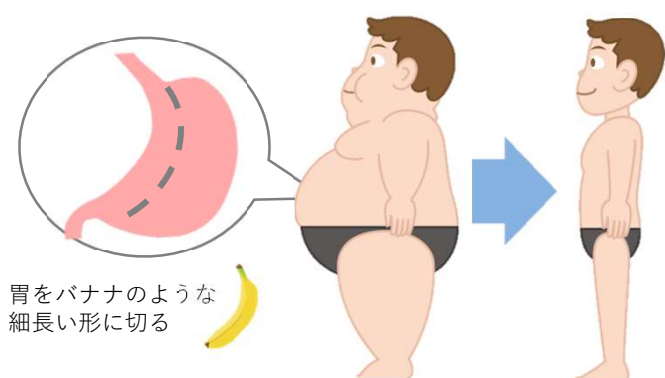




腹腔鏡下スリーブ状胃切除術 減量外科外来



減量手術は美容目的の脂肪吸引とは異なり、重症肥満の改善や、肥満に伴う糖尿病、高血圧などの治療を目的とします。様々な術式がありますが日本では腹腔鏡下スリーブ状胃切除術のみが保険適応です。本手術を受けることにより、約30～50kgの体重減少と、肥満関連疾患が劇的に改善することが報告されています。なお、手術適応に関しましては、各種検査や多職種でのカンファレンスを踏まえ、慎重に検討させていただきます。



胃をバナナのような細長い形に切る

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の 保険適応の条件

- ◆BMI 35以上 【体重÷身長²の2乗】
例: BMI35 = 身長170cm、体重102kg
- ◆18歳～65歳
- ◆肥満に伴う疾病(糖尿病、高血圧、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群)を1つ以上合併している場合
- ◆6カ月以上の内科的治療が無効

胃の大部分を切り取り、容量を60～100cc程度に縮小させる手術です。



外来担当医 外科医師 / 網木 学

略歴

2002年 6月 国立水戸病院(現 水戸医療センター)
2008年 4月 済生会栗橋病院 外科
2015年 4月 川崎幸病院 外科
2017年 3月 四谷メディカルキューブ 減量外科フェロー
2019年 4月 川崎幸病院 外科医長

認定資格等

日本外科学会専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本消化器外科学会専門医
麻酔科標榜医

減量外科外来 毎週土曜日 9:30～

重症の肥満症に対し、手術で体重減少を図ることは日本ではあまり認知されていません。しかし、その劇的な効果から、海外では一般的な治療となっております。BMI35以上で、肥満に苦しんでいる患者様のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

患者さん向けに減量外科外来の紹介動画を作成いたしました。
よろしければご覧ください。



治療に関する疑問点等E-mailでも対応しておりますのでお気軽にご相談ください。
患者さんから直接ご連絡いただいても構いません。

E-mail genryou@saiwaihp.org

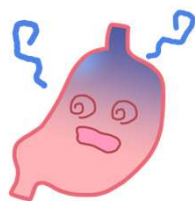
社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

ご予約・お問い合わせ

☎044-511-2112

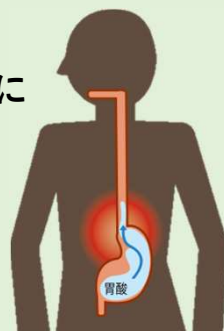
逆流性食道炎の手術治療



逆流性食道炎の治療

逆流性食道炎は、胸焼け、胸痛、口の中が苦いなどの典型的な症状のほか、喘息や肺炎など重篤な呼吸器疾患を引き起こすことが分かってきています。多くは内服薬で改善しますが、一部の患者様では症状の改善が得られない場合があります。こうした患者様に対し、欧米を中心に胃の上部を食道に巻きつける手術（噴門形成術）が行われています。

本治療は日本ではまだ一般的ではないものの、重症の逆流性食道炎に対して非常に有効です。ただし、すべての患者様で効果が得られるわけではありませので、内視鏡検査や逆流を評価する検査などを行い、慎重に手術適応を決定させていただきます。



外来担当医 外科医師 / 網木 学



略歴

2002年 6月 国立水戸病院(現 水戸医療センター)
2008年 4月 済生会栗橋病院 外科
2015年 4月 川崎幸病院 外科
2017年 3月 四谷メディカルキューブ 減量外科フェロー
2019年 4月 川崎幸病院 外科医長

認定資格等

日本外科学会専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本消化器外科学会専門医
麻酔科標榜医

逆流性食道外科外来 毎週土曜日 9:30～

重症の逆流性食道炎に対し、手術が有効であることはまだ十分には認知されていないのが現状です。手術までは考えていない患者様も、診察や専門の検査を受けることが可能です。治療に難渋している逆流性食道炎の患者様のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

患者さん向けに逆流性食道外科外来の紹介動画を作成いたしました。よろしければご覧ください。

